

入居者様作品

※先月号の続きの短編小説です。今回はついに函館まで来た話とのことです。二人の旅はどうなるのでしょうか。

志乃と一正は室蘭を過ぎたのちそのまま函館を目指した。車中で眠っていた志乃も途中で目を覚まし、函館市街が近いことを知った。噂には聞いていたが、港町として古くから栄え、異国情緒も残る街並みに物珍しく景色をみている志乃であった。「今日は函館に泊まっていくからな。何度か泊まったことがある旅館があるんだ。いいところだから心配しなくて大丈夫だ。」と一正が話す。

部屋はちゃんと別々にしてくれているんだろうかと志乃が心配になった表情をみたのか、すぐに一正は「そんな心配しなくていい。ちゃんと部屋は別にしてあるから。俺だって子供の世話はしたくないからな。ははは。」と豪快に笑いながら一正が話す。(大して年は変わらないのに)と志乃は思ったが、口には出さず、ただ一緒に笑っていた。

「そうだ、せっかくだし夜は函館山に夜景を見たいこう。なかなかの絶景だからな。」と嬉しそうに一正が話す。志乃も函館の夜景は写真では見たことがあったが、実際にこの目での見たことがなかったから、とてもうれしくて、「本当に? やった!」と思わず声に出してしまった。それを見て、してやったりの一正は、すかさず「やつぱりまだまだ子供だな。」とからかうのだった。

到着した旅館は小さめののどかな雰囲気旅館だった。あらかじめ一正が連絡していたからか、わざわざ女将が迎えてくれた。「あらあら、若いお二人で新婚さんみたいに見えますね。」と女将が冗談をいう。一正はこれまでも旅行で函館に来たことがあり、その際に何度かこの旅館に宿泊していたようだ。そのため女将も一正のことによく知っているという。

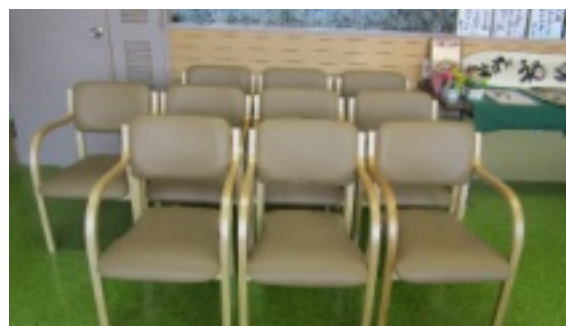
志乃には女将がまだ見た目は20代に見えたが、後で一正に聞くと30半ばということだった。着物が大変よく似合い、細身で肌も色白で、大変きれいな女性だった。志乃は(やつぱりこれくらいきれいな人でないと女将という仕事は務まらないのだろうな)と思った。部屋は別々であったが、夕食は広間での食事だった。小さな旅館だったが料理は大変豪華だった。一正と志乃、また女将も同席しての食事となった。女将は一正とは顔なじみだが、志乃に対してはよく話をしてくれた。人見知りの志乃もいつしか女将に心を開き、遠慮なく話せるようになっていた。志乃がなぜ今回の旅に一正と一緒にいるのかを決めたのかについても、女将は真剣にじっくりと話を聞いてくれたのだった。

【つづく】

肘掛け付椅子10脚が導入されました。

編集後記

令和2年1月22日に肘掛け付椅子が10脚導入されました。入居者様に快適に過ごしていただける環境をご用意できるように、今後も取り組んで参ります。



職員腰痛健診

心と園では2月に看護職員・介護職員を対象とした後期の腰痛健診を実施しています。

施設全体・法人全体で心と園の入居者様に安心していただけるサービスを提供できるよう職員の健康維持にも充実化を図っています。

腰痛健診は年2回必ず実施しています。入居者様への適切な介護を行う為には、支援にあたる職員の健康維持が不可欠です。



特に腰は介護をする際に、一番負担のかかる部位です。異常がないかを発見し、早期の治療を行う体制をとっています。

中国武漢の新型コロナウイルスが連日、新聞やテレビで報道されています。日本でも数としては少なくとも罹患者が確認されてきており、やはり不安になりますよね。さて、心と園では現在も園内でのインフルエンザの発生なく入居者様に過ごしていただいております。ご家族様には面会の際にマスク着用や手指の消毒などご協力をいただきます。今回の黎明では、新しくベッドが6台導入されたことや、委員会の取り組みなどについて広報誌でお伝えしました。

今後も随時、施設の環境整備や施設内で実施している取り組みについても、この広報誌でご家族様にお伝えしていきます。寒さが厳しくなっております。ご家族様におかれましても、風邪などには十分ご注意ください。

黎明

厚岸町立特別養護老人ホーム 心と園 広報委員会発行

ベッド6台が新しく導入されました!

令和2年2月6日に、旧式化したベッドの替わりとして、超低床型ベッド6台が導入されました。

この超低床ベッドはベッド高を15.5cmまで下げることが可能なベッドであり、これまで心と園では使用したことがないベッドです。

活用することで、ベッドでの転落による事故の防止や、自然な形で対策を行うことで、身体拘束廃止にも配慮した事故対策の実施が可能となります。

また、普段床に布団で寝るのが習慣だった利用者様にも、それに近い形での寝床の用意も可能となります。今回のベッド6台は令和元年度防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を財源として、厚岸町より導入されています。



搬入された6台の超低床ベッドのうち1台。様々な新機能もあります。

施設内委員会について

心と園では施設内の委員会として、「身体拘束廃止委員会」、「高齢者虐待防止委員会」、「感染対策委員会」、「事故防止対策委員会」、「褥瘡防止対策委員会」を隔月で定期的に開催しています。委員会開催の際には施設内各部署の代表職員が集まり委員会にて話し合いを行っています。

「身体拘束廃止委員会」は入居者様の行動を抑制するような対応や居室環境となっていないかを委員会にて確認しています。現在も心と園では身体拘束は行っておりませんので、委員会では主に、身体拘束につながる危険性がある対応がないかを「事故防止対策委員会」は施設内で発生している事故をデータとして分析し、そこから導き出される背景から対応や環境を見直しています。また事故に至る前段階であるヒヤリハット報告を重視し、積極的な報告の呼びかけを委員会にて各部署に伝達しています。

◆心と園での面会について◆

心と園では、新年を迎えてからもインフルエンザ罹患者が発生することなく経過しております。ご家族様には面会の際、マスク着用・手指の消毒の他、面会室(ユニット)については各個室)での面会のご協力をいただいております。ご家族様のご協力もあり、入居者様の健康が維持されております。現在も町内、インフルエンザは少数ながら確認されている状況であります。今後も感染対策を続けていきますので、ご不自由をお掛けしますが、ご協力をお願い致します。

「褥瘡防止対策委員会」は褥瘡のある入居者様の対応についての再確認・情報共有の他、発生の危険がある入居者様についての対応変更の検討を行っています。委員会開催後は、参加職員以外の職員も情報を共有し周知徹底できるように、会議録を各部署ごとに配布、全職員が閲覧し必ず確認をするようにしています。

入居者様の健康や安全を守るため、また、入居者様の権利を守り、より適切な支援を行うためにも、今後も施設全体で取り組んでまいります。これらの委員会は今年2月にも開催予定です。

心と園行事 スナック

出前の日♪

1月にも計2回、出前の日が開催されました。今回も町内の蕎麦店、東家さんのお蕎麦を皆様美味しくいただきました。写真からもよく伝わってきますね。



参加された皆様、大変喜ばれて召し上がられていました。



節分の日♪

2月3日は節分の日。節分といえば豆まきですね。心と園でも2月3日に多床室では地域交流ホールにて豆まき行事が行われました。また、同日にユニットでも豆まきが行われました。鬼の登場に皆さんどのような反応だったのでしょうか。スナック写真から行事の様子が伝わればと思います。



豆まきは日本の伝統行事。「鬼は外、福は内!」。今年もよい年でありませう、厄もすっかり払えたようですね♪



ユニット誕生会♪

1月のユニット誕生者は根布谷様、中村様の2名でした。また来年も一緒にお祝いしましょうね。



大好物の魚の煮つけでお祝いです。好きな日本酒も呑まれたそうですよ。大



多床室誕生会♪

1月誕生者の皆様。瀬川様、荻原様、須崎様の3名です。また次の誕生日にもお祝いしましょうね。

